

# 豚コレラをめぐる県内の状況等について

令和元年8月9日  
農業技術課  
農村振興課

## 1 県内における感染状況

### (1) 野生いのししにおける感染状況

- 県内では、これまでに3頭の野生いのししから豚コレラ陽性反応を確認(8月8日現在)

発見日 又は 捕獲日	発見場所	個体状況					判定
		発見状態	性別	成子の別	体長	体重	
R元.7.27 (発見)	富山市 葛原地内	死亡	雄	成体	約110cm	約50kg	陽性
R元.8.1 (発見)	砺波市 庄川町庄地内	死亡	雌	子	約60cm	約6kg	陽性
R元.8.5 (発見)	南砺市 菅沼地内	死亡	雌	子	約70cm	約8kg	陽性

- 死亡いのししからの陽性反応確認を受け、7月30日以降、死亡いのししに加え、陽性反応を確認したいのしし発見地点を中心とした半径10km以内及びその周辺地域で捕獲された野生いのししについて、豚コレラの感染状況の調査を実施しているが、これまで検査した、捕獲された野生いのししについては、全て陰性であることを確認。

【参考】7月30日以降の野生いのししの豚コレラ検査状況(単位:頭)(8月8日現在)

区分	陽性	陰性	計
死亡いのしし	3(※)	0	3
捕獲いのしし	0	10	10
合計	3	10	13

※ 上記陽性3頭が該当

### (2) 養豚農場の状況

#### ア 監視対象農場における状況

豚コレラ陽性いのししが発見された地点から半径10km圏内に位置する5農場(※)を農林水産省の通知に基づき監視対象農場とし、飼養豚の異常の有無について、毎日、県へ報告を求めている。現在のところ、全ての農場で異常なし。

- ※①富山市葛原地内の野生いのしし陽性個体(R元7.27発見)の発見箇所を中心とした半径10km圏内の農場 3農場
- ②砺波市庄川町庄地内の野生いのしし陽性個体(R元8.1発見)の発見箇所を中心とした半径10km圏内の農場 2農場

#### イ その他の養豚農場における状況

所管の家畜保健衛生所職員が、7月29日(月)から7月31日(水)までに立入検査を実施し、異常がないことを確認したほか、定期的に巡回指導を実施中。現在のところ、全ての農場で異常なし。

## 2 感染拡大防止対策の実施状況

### (1) 養豚農場における防疫対策の強化

- 全ての養豚農場に対し、飼養衛生管理基準の遵守を徹底するよう、巡回指導時等において改めて指導
- 野生いのししの侵入防止柵の整備状況は次のとおり
  - 県の豚コレラ緊急対策事業前に整備済 6 農場
  - 県の豚コレラ緊急対策事業により整備 10 農場  
(整備完了=1農場、8月中旬までに完了=4農場、8月下旬を目途に完了=5農場)
  - 電気柵などの自己施工等で対応 3 農場

### (2) 野生いのししの捕獲強化

- 富山市及び南砺市において、捕獲わなの増設分（105基）を発注済
- 富山市、南砺市及び砺波市において、感染等防止のための捕獲いのしし等の埋設処分地を整備済

### (3) 野生いのししへの経口ワクチンの散布

- 8月8日(木)に、富山市婦中町千里地内（県畜産研究所敷地内）において、野生いのししへの豚コレラ経口ワクチンの先行散布を実施  
参加者 約70名（県職員、市町職員、猟友会会員）
- 上記先行散布に引き続き、8月13日（火）より、富山県豚コレラ経口ワクチン対策協議会（県、市町、猟友会、農協中央会、全農富山県本部、獣医師会、養豚組合連合会 等で構成）が実施主体となり、富山市、南砺市及び砺波市において、経口ワクチン散布を順次開始。このほか、小矢部市、立山町においても散布を計画中。

■ 豚コレラは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。  
また、感染豚の肉が市場に流通することはありませんが、万が一、感染豚の肉を食べても健康に影響はありません。